



市在住外国人向けに英訳のごみ分別表と病院マップを作成 鳳凰高校2年生



鳳凰高校2年生が授業の一環として、在住外国人支援「Heart to Heart」プロジェクトを立ち上げ、英語版ごみ分別表及び市内病院マップを作成しました。外国人の視点で本市中国人国際交流員が助言したり、関連部署の市職員もアドバイスをを行うなどしました。

ごみ分別表は、市が発行している日本語ごみ分別表とも比較が出来るようレイアウトに工夫がされています。また、市内病院マップは、加世田地域周辺に所在する病院等の診療科目や開院日時情報等が明記され、手作りの地図も添えられており日本語が苦手な外国人が必要な情報を得られるようになっています。外国人住民の生活の支援をしたい！困っている人たちを支援したい！という高校生たちの思いが込められたリーフレット2種は市に贈呈され、現在、本庁や各支所にて配布中です。

英語で書かれたごみ分別表と加世田地域の周りにある病院の情報が書かれた冊子を市役所で配っています。(鳳凰高校の生徒たちが作りました。)

You can now get “Ways to separate and dispose of garbage and recyclables” and “leaflet of hospital information around Kaseda area” (both are all in English) at city hall and all 4 branch offices.(These were written by Hooh high-school students)

みそづくり体験 大浦小6年生



2月4日、大浦農村婦人の家で、大浦小学校の6年生16人が大浦特産コシヒカリと同小で栽培の大豆を使い、合わせみそづくりを体験しました。生活研究グループ員の手ほどきを受け、前日から米や麦を蒸し発酵させるなど時間をかけて準備をするみそ作りの行程や麴などの必要な材料について、初めて知ることが多かったようです。大豆は煮物にして持ち帰り、出来上がったみそは、児童全員にプレゼントされました。

柔道2選手 県代表に選出



2月22日に行われた九州選抜代表選考会で、坊津学園柔道部の内園春輝さん(8年生)が55kg以下級、作本迅さん(8年生)が66kg以下級にそれぞれ、4月4日に福岡県で開催される第19回九州選抜中学生柔道体重別団体優勝大会(男子4人、女子3人の県対抗団体戦)の県選抜選手として選出されました。※新型コロナウイルス感染症の影響で大会は中止になりました。